

## 乳がんの乳頭乳管内進展に関する研究

### 1. 研究の対象

2011年1月から2016年12月に防衛医科大学校病院乳腺外科および関連施設にて胸筋温存乳房切除術が行われた患者さん

### 2. 研究目的・方法

乳がんは腫瘍径が小さい早期の段階から他臓器に転移することが知られております。しかし、画像診断では、診断精度は1mm程度が限界でそれ以上の検索は不可能です。まして、乳頭内は、画像検索が難しい部位であり、1mmを満たない精度の高いがんの広がり診断は困難です。最も厳密に乳頭乳管へのがんの浸潤を診断可能なのは、術後の病理学的検索と考えます。したがって、乳頭乳管内への乳がんの広がりを術前に施行した画像検査結果とともに、病理学的検索結果を後方視的に検討したいと考えております。診療録が残っている2011年1月から2016年12月の患者を対象とし、乳頭乳管内進展と各種の画像診断モダリティ（US、MMG、MRIなど）との相関性を後方視的に検討致します。結果は $\chi^2$ 検定、t検定、ノンパラメトリック検定等で検証致します。研究期間は平成31年3月31日までを予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療情報（検査結果報告、病理報告等）で個人を識別可能な情報は除く。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木3丁目2番地

防衛医科大学校 外科学講座 学内講師 山崎 民大（研究責任者）

PHS 2356/5300

e-mail: yamasaki@ndmc.ac.jp